

■ 令和6年度 第1回足近小学校学校運営協議会 議事録

1 日 時:令和6年5月16日(木)10:00~11:50

2 出席者:学校運営協議会委員 12名

羽島市教育委員会 教育支援センター
教育政策課

3 内容

(1) 委嘱式

・市教委から、委員に交付

(2) 委員の紹介

* 一覧表をもって確認

* 会長、副会長、地域学校協働活動推進委員の決定

規約第10条、第1項 会長・・・足近町コミュニティセンター協議会会長

副会長・・・校長

地域学校協働活動推進委員・・・足近町コミュニティセンター館長

(3) 「羽島市新しい時代の学校構想検討委員会」の進捗状況の報告

*羽島市教育委員会 教育政策課より説明

(4) 授業参観

*各学級3分ほど参観

(5) 協議

*学校経営方針の説明【学校長】

・一斉授業からの脱却、個別最適な学び、協働的な学びを考える中で作成。根底には安心して生活できる学校がある。

*学校運営協議会との連携【学校長】

・4つの部会に委員の方に主体的に入っていていただいて連携を図っていききたい。

・1年を通して、何ができそうか考えていただきたい。

*学校評価について【学校長】

・学校評価を「なかよく」「かしこく」「たくましく」「安心な学校」の4観点で実施予定である。

*小中一貫教育推進について【学校長】

・MOA 学園を中心に挨拶運動を続けていく。

*いじめ防止基本方針の説明【学校長】

・いじめはどこにでも起こりうるとらえ、アンテナを高くしている。

(6) 意見交流

【委員】

地元の小学校は安心感がある。

タブレットを使った授業や英語の授業があり、我々の時代と違って子供たちは大変。よく頑張っている。

【委員】

わが子が通っていた時はもっとにぎやかであった。少し大人しいように感じる。

タブレットの扱いが早く、感心した。

子供たちには必ず「おはよう」「おかえり」の声をかけているが、いつも反応が返ってくる。

【委員】

(全国学力・学習状況調査の問題を読むことで疲れてしまう児童がいることから)

資格試験では、パッと見て問題を順番に解いていくのか設問を先に見るのか瞬時に判断をしなくてはならないので、そうした力も必要なのかもしれない。

防災教育は答えがなく、とにかく考えることが大切。外部講師にも、子供たちに課題を出してもらって考える場をつくってもらおう。

【委員】

教室は和やかな雰囲気である。このような雰囲気の中で勉強できることが大事である。継続できるよい。

【委員】

先日、不審者情報があり下校時刻が遅れた。見守りで立っている人にはその情報が伝わってなく、ずっと待ってみえた。何かの方法で見守りの人にも伝わるとよい。

【市教委】

校長が「安心感」を何度も言っている。大切にしていることが伝わってくる。

穏やかな子が多いと感じた。大きな声でゆっくり話す先生、子供の反応を見ながら進める先生、子供を認める言葉がけをする先生の姿がよかった。細やかな配慮をしていけばいじめは少なくなると思う。

(7) 閉会の挨拶【会長】

今年度も子供たちのために学校にしっかり協力していきたい。